

## 第 3 回部会（H29.12.12）における主な意見

## 【地域保健福祉部会】

NO	主な意見	対 応
1	鶴見区のヴィジョンには区の独自性が必要ではないか。	各地域の特性を検証しながら、区の独自施策を含んだ内容になるよう検討してまいります。
2	地域共生社会を進めるためには、地域活動協議会と各福祉機関がどのように連携していくかを、区のヴィジョンに示す必要があるのではないか。	地域との連携は切り離せないものと考えており、地域住民が主体となって地域福祉を推進していくことは重要であると考えています。区役所や区社会福祉協議会など様々な関係機関がそれぞれの役割を果たし、地域活動協議会との連携が図れ、地域保健福祉の推進をめざす内容をヴィジョンに盛り込んでいきます。
3	「2025 年問題」というが、地域においては時間に余裕のある人材が増えることが期待できる。今の要支援レベルの人を地域が支えることや地域を交えて支援を進める事をもっと区のヴィジョンに入れるなど積極的なアプローチを考えてはどうか。	鶴見区地域保健福祉ヴィジョンには、地域、関係機関との連携について示していきます。
4	地域ケア会議に参加し、地域の中で対応困難な住民を排除することよりも取り込んで一緒に暮らしていくことが大事だと最近あらためて気づくことができた。引き続きアドバイス等お願いしたい。	地域包括支援センターをはじめ関係機関や地域と連携し、地域福祉の推進に引き続き取り組みます。

NO	主な意見	対 応
5	<p>現行のビジョンのどの部分をどう変更するのか、わかりやすく示す必要があるのではないか。</p>	<p>現行のビジョンと、改定後のヴィジョンの違いについても、わかりやすく説明できるよう工夫します。</p>
6	<p>健康づくりには、喫煙や受動喫煙など問題があるように思われる。たばこを止めると健康になるということを、広く周知してもらった方がよい。</p>	<p>鶴見区民は喫煙率が大阪市平均より低い状況ではありますが、喫煙はがん等の疾病原因です。平成 29 年度の区民まつりでは、呼気中一酸化炭素濃度測定等たばこの影響を周知啓発する取組みを実施しており、今後も、喫煙者が禁煙の必要性を自覚し、実行に移す動機づけとなる事業を実施します。</p>
7	<p>長野県で食生活習慣を県全体で見直して、健康寿命が延びたという事例もある。また、野菜を作る所から始めて、取れた野菜を使ってお料理をするというものがあればよい。</p>	<p>レシピコンテストのテーマや野菜づくりについては関係団体と実施について検討していきます。また、『わたしのおすすめレシピ』として魚嫌いや食物アレルギーの方でも楽しく食べられるレシピ紹介を広報紙等で情報提供していきます。</p>
8	<p>和歌山県橋本市で健康体操に取り組みまれて医療費負担が減ったという取組み事例もあり、社協で実施される介護の総合事業や町会単位の百歳体操など運動を取り入れた事業を積極的に実施していくべきだと思う。</p>	<p>現在地域で進めている百歳体操は実施箇所も増えてきているところであり、新しく始めたいという地域の要望もあるが、リーダーとなる人が見つからないという課題があるため、地域の関係団体と協働し、担い手となる人材の育成を進めていきます。</p>

## 第 3 回部会（H29.12.11）における主な意見

## 【こども教育部会】

NO	主な意見	対 応
1	<p>児童相談件数は減少しているが、虐待件数は横ばいの状況であり、深刻なケースもあると思われる中、相談の窓口が明確にあり、職員が丁寧に対応しているということは区民からすれば非常に安心である。</p>	<p>鶴見区の子育て支援室は 8 人体制で業務を行っており、虐待案件については、虐待・DV 担当係長を中心にこども相談センターや鶴見警察とも連携をとりながら日々対応を行っていますが、さらに相談者に寄り添った対応に努め、子育て支援室の機能強化を図るため、関係先との連携を強めていきます。</p>
2	<p>子育て支援室は、区内にある地域の子育てサロンとも連携してほしい。</p>	<p>子育て支援室は、鶴見区内にある子育て支援施設等との連携を図るため、月 1 回、子育て支援連絡会等を開催しており、子育て支援施設の担当者、地域でサロンを実施されている主任児童委員、子育て支援室、保健師、栄養士により情報共有に努めています。また、地域の子育てサロンへ保健師や保育士が出向き、育児相談等を行っており、今後もさらなる連携の強化に努めます。</p>
3	<p>年 2 回鶴見緑地の茶室「むらさき亭」で開催しているおもてなし茶会について、小学生にも参加しやすい内容となるよう工夫し、学校や P T A と連携して、子ども、親子が生涯学習を体験できる機会を提供するなど、生涯学習の認知度アップに努めることが必要ではないか。</p>	<p>区としても、おもてなし茶会にとどまらず、幅広い年代に向けた学びを提供できるよう関係団体等と連携を図りながら、生涯学習の推進と認知度のアップに努めていきます。</p>

NO	主な意見	対 応
4	校長会や教育行政連絡会等で意見交換した内容を区政会議の部会で報告してはどうか。	教育行政連絡会等で意見交換した議事内容を、区政会議（こども教育部会）委員あてに発送するなど、情報共有を図ります。

## 第 3 回部会（H29.12.5）における主な意見

## 【防災・防犯部会】

NO	主な意見	対 応
1	防犯一斉行動について、効果があるのか。参加者の中でも、なぜ実施しているのかわかっていない人がいるなど、地域住民も知らない。ただ歩くより、危険箇所立つとか、自転車で回るなどやり方を変えればよいのではないか。	各地域の防犯推進委員との会議において、各地域の現状、今後の実施方法など意見交換を行い検討していきます。日頃からの子ども見守り活動や、防犯一斉行動など、地域が行う防犯活動について、広く周知を図っていきます。
2	区役所で青色パトロールを実施しているが、地域と時間が重なるので調整してほしい。	区役所では、毎日、午前・午後ときめ細かな防犯活動を実施しておりますが、日時や場所について、地域で実施されているパトロールと調整を行ってまいります。
3	トランシーバーやMCA無線機を地域に配備するだけでなく、運用マニュアルを示すとともに、地域が活用できるよう取組んでほしい。	毎月1回地域と行っておりますMCA無線訓練に加えて、新たに配備したトランシーバーについても運用マニュアルを作成し、訓練を行ってまいりたい。なお、災害時だけでなく平時の防犯活動の際にも利用いただけるよう地域防災連絡会議や防犯推進委員の会議などでお伝えしてまいります。

NO	主な意見	対 応
4	<p>災害時地域協力貢献事業所に対し、地域の防災訓練への参加を求める等、日頃からの連携を大切にすべきである。</p>	<p>登録制度が始まり5年以上経つことから、現在、協力内容の変更の有無、また地域の防災訓練について情報提供を希望するかなど、アンケートを実施しているところです。取りまとめ後は、地域に情報提供するなど、災害時の活用方法（物資の受け取り方や搬送方法など）について検討していきます。</p>
5	<p>地域内の小学校で防災訓練等の実施はしているが、中学校で実施したことはない。また、訓練は地域単位で行っているが、実際災害が発生した場合、他地域からの避難者が想定されるため、その対応を含めた訓練を実施する必要があると思う。</p>	<p>災害発生時は中学校、高校も「災害時避難所」となるため、中学校、高校を使用した訓練も必要と考えています。実施の際には、隣接する地域が参加できるようにするなど、より実践的な訓練となるような工夫を検討していきます。</p>
6	<p>小学校などに設置されている防災行政無線（スピーカー）は、「聞こえにくい」、「不明瞭」で何を言っているのかわからない。</p>	<p>平成27・28年度に大阪市危機管理室において調査を行い、移設・増設を行いました。新しく取付けたスピーカーでは遠くまで聞こえるようになったはずですが、聞こえにくいという声がある場所については、一斉訓練時などに職員が現地で調査を行い、大阪市危機管理室へ伝えていきます。</p>